



自分のもっと伸ばせる力は何だろう？

今日で2学期も終わりです。勝浦大運動会やマル勝まつりなどの行事も皆さんはとてよくがんばりました。学校に来られたおうちの方や地域の方々が皆さんの活動が素晴らしかったことをたくさんほめていただきました。みなさんは国語や算数などの勉強をしながらの事ですから、私はみなさんのがんばる力は大了なものだと感心しています。私はいつも先生方に「勝浦小の子供たちは、大変優れた能力を持っています。大きな行事でのその力が発揮できるのだから、毎日の生活や勉強でも、もっとその能力を引き出してあげてください。」とお願いしています。

皆さんには、自分の力をもっと伸ばして、もっといい人になってほしいと思います。ぜひ、『自分のもっと伸ばせる力』は何だろう、と考えて新年の目標を立ててほしいと思います。

充実した6年生の修学旅行(長崎・熊本)でした

6年生は12月4日～5日に修学旅行に行ってきました。

1日目は、長崎市を訪れて、歴史資料館や原爆資料館を見学し、市内のフィールドワークを行いました。夜は雲仙に宿泊し、乳白色で硫黄の香りがする温泉で一日の疲れをいやしました。

2日目は、長崎と熊本を45分で結ぶフェリーに乗船し、かもめも間近に見ることができました。グリーンランドではグループ活動を行い、無事に旅行を終えることができました。17日には、報告会を行い、学んだことをグループでまとめて保護者の皆さんへ発信することもできました。



市内フィールドワーク



平和公園



中華料理の昼食



バスの中で



カモメのえさやり



グリーンランド

たくさん的大豆を収穫しました(3年生)

(GT:小島芳治さん)



11月26日に3年生は1学期から育てていた大豆の収穫を行いました。栽培を通して、枝豆が大豆になることや、様々な用途に利用されていることも学習しています。GTの小島さんからは農業の大変さや大切さを学びました。3学期には味噌づくりにチャレンジすることになっています。



自分の origin (オリジン) を大切にできる子ども 外尾悦郎氏



先日、スペインの世界的文化遺産「サグラダ・ファミリア(ガウディの代表作)」の彫刻制作に47年間携わっている、ただ一人の日本人彫刻家・外尾悦郎氏(福岡県出身)の講演を拝聴しました。

外尾氏は、困難を乗り越える力の源は、故郷で培った自分の「origin(原点・心のふるさと)」にあると語られました。「origin」とは、物事の始まりや自分の根っこ、生き方の基盤となるものです。ガウディの考え「自分が幸せになるには、人を幸せにするしかない」という言葉を origin として大切に、制作を続けているそうです。また、「人は誰一人同じではない。違うからこそ素晴らしい。」と語り、互いの違いを喜び、感謝し、許すことが、多様性を受け入れる力につながると強調されました。強い origin を育てるには、子どものころに地域や学校で経験し、心に刻まれる学びが大切だとも述べられました。これは、福津市勝浦で推進している「地域とつながり、地域で学ぶ教育」に通じるものです。学校・家庭・地域が力を合わせ、自分の origin を大切にできる子どもたちを育てていきましょう。



津屋崎中学校卒業生(H12年卒)から寄付金をいただきました

先月、津屋崎中学校の卒業生(代表:本校の職員の平木先生)から、子ども達の教育活動に活用してくださいと寄付金(3万円)をいただきました。卒業した先輩方からの故郷の子ども達へのエールとして、大切に活用させていただきます。